

カレンダー

(ゴチックは本号に掲載の記事)

会 期	集 会 名 (会 場)	〔 掲 載 号 〕
学術集会・講習会		
2008年10月1日(水)~2009年2月23日(月)	平成20年度統計数理研究所公開講座〔442〕	
11月21日(金)~23日(日)	平成20年度菌学教育研究会「菌類の多様性と分類」後期講座(つくば市・菌学教育研究会 筑波センター)〔443〕	
22日(土)	2008年度藻類談話会(京都市・京都大学大学院人間環境学研究所棟)〔442〕	
29日(土)~30日(日)	植物色素研究会20周年記念大会(熊本・2008)(熊本市・熊本大学黒髪キャンパス工学部百周年記念館)〔442〕	
12月2日(火)~5日(金)	第31回極域生物シンポジウム(東京・国立極地研究所)〔440〕	
4日(木)	第135回日本医学会シンポジウム「腎と全身疾患 - CKD をめぐる最近の話題 - 」(東京・日本医師会館大講堂)〔444〕	
12日(金)	大阪大学フォトンクス先端融合研究センター第3回シンポジウム「光とナノが創る科学と産業」(東京・大手町サンケイプラザ4階ホール)〔444〕	
13日(土)	第45回好塩微生物研究会(奈良市・帝塚山大学学園前キャンパス16号館)〔441〕	
13日(土)	平成20年度ビタミンの日講演会「健やかに美しく - ビタミンの大切さ - 」(岡山市・岡山大学創立50周年記念館)〔443〕	
24日(水)~2009年1月7日(水)	ウインター・サイエンスキャンプ'08~'09〔443〕	

国際会議

2008年12月1日(月)~4日(木)	第3回アジア染色体コロキウム(ACC3; The 3rd Asian Chromosome Colloquium 2008)染色体研究の新展開 - アジア染色体研究ネットワークの構築 - (Advances in Chromosome Sciences - Development of Chromosome Research Network in Asia -)(大阪府・大阪大学コンベンションセンター)〔440〕	
2009年9月20日(日)~24日(木)	国際甲殻類学会東京大会(The Crustacean Society Summer Meeting, Tokyo, Japan)(東京・東京海洋大学)〔440〕	

公 募

2008年11月20日(木)	第8回内藤記念若手研究者海外派遣助成金(冬季)〔438〕
20日(木)	第34回内藤記念刊行助成金(学術図書)〔438〕
20日(木)	第34回内藤記念刊行助成金(定期刊行物 - 学術雑誌)〔438〕

生物科学ニュースに原稿をお送りいただく場合の詳細については、本ニュースの巻末をご覧ください。

生物科学ニュース編集委員会 電話 03-3814-5461 (10時半から4時まで(水曜日のみ))

FAX 03-3814-6216 E-mail bsnews@bsj.or.jp

(社)日本植物学会、(社)日本動物学会へのお問い合わせは下記のとおりをお願いします。

(社)日本植物学会 電話 03-3814-5675 (9時半から4時半まで)

FAX 03-3814-5352 E-mail bsj@bsj.or.jp

(社)日本動物学会 電話 03-3814-5461 (9時から4時まで)

FAX 03-3814-6216 E-mail zsj-society@umin.net

28日(金)	平成21年度東京大学海洋研究所共同利用研究[443]
12月1日(月)	第11回大学女性協会守田科学研究奨励賞[441]
5日(金)	平成21年度京都大学霊長類研究所共同利用研究員[444]
10日(水)	第47回(平成20年度)下中科学研究助成金[440]
10日(水)	平成20年度(財)昭和聖徳記念財団学術研究助成[442]
25日(木)	(財)交流協会平成21年度事業応募者[444]
19日(金)	平成20年度「風戸研究奨励賞」[441]
20日(土)	(財)ソルト・サイエンス研究財団平成21年度の研究助成[443]
2009年1月15日(木)	平成21年度多摩川およびその流域の環境浄化に関する基礎研究, 応用研究, 環境改善計画のための研究・活動助成[444]
2月20日(金)	第8回内藤記念若手研究者海外派遣助成金(春季)[438]
27日(金)	2009年度山田科学振興財団研究援助[442]

求 人

2008年11月28日(金)	北海道大学大学院理学研究院生命理学部門生命機能科学分野で准教授1名[443]
12月15日(月)	北海道大学低温科学研究所生物環境部門助教1名[443]

学術集会

・第135回日本医学会シンポジウム「腎と全身疾患 - CKD をめぐる最近の話題 -」が, 12月4日(木)午後1時~5時に日本医師会館大講堂(東京都文京区本駒込2-28-16)で開かれます。内容は次のとおりです。

序論: なぜ今 CKD が注目されているのか - わが国の CKD 対策のあゆみと今後の展望 - (岡山大・榎野博史)/ 1) CKD 診療ガイドと日本人の GFR 推算式(名大・松尾清一), 2) 心血管イベントとアルブミン尿の重要性(川崎医大・柏原直樹), 3) 糖尿病性腎症対策の最近の知見(新潟大・鈴木芳樹), 4) 高血圧とCKD(名市大・木村玄次郎), 5) 腎炎・ネフローゼ・血管炎(大阪大・今井圓裕), 6) 地域医療連携とCKD重症化予防のための戦略研究(FROM-J)(筑波大・山縣邦弘)/ 総合討論

参加費は不要です。出席者は討論に参加できます。参加ご希望の方は, 「FAX 送信」, 「郵便はがき」または「日本医学会ホームページ登録」で申し込んでください(記入項目: 氏名, 住所, 電話, 職業)。参加申し込み後10日以内に本会より入場券を送付します(定員に達した場合は送付しません)。定員は500名(先着順)です。

【問合せ先】113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館内 日本医学会 TEL 03-3946-2121(代) FAX 03-3942-6517 ホームページ <http://jams.med.or.jp/>

・大阪大学フォトンクス先端融合研究センター第3回シンポジウム「光とナノが創る科学と産業」が, 12月12日(金)午前10時~午後5時に, 大手町サンケイプラザ4階ホールで開かれます。内容は次のとおりです。

「阪大フォトンクスセンターが目指すもの」(フォトンクスセンター・河田 聡)/ 基調講演: 「新しい領域では光とナノがポイント - 光触媒を例にして」((財) 神奈川科学技術アカデミー・藤嶋 昭)/ 研究講演: 「自己組織化と構造制御の融合による液晶ナノフォトンクス材料」(大阪大院工・尾崎雅則), 「半導体ナノフォトンクス蛍光材料を用いた発光デバイスの開発」(大阪大院工・桑田 進, 名大院工・島本 司, IDEC(株)・藤田俊弘)/ 研究講演: 「新しいフォトンクス材料開発のための分子デザイン」(大阪大院工・菊池和也, 水上 進, Gong Wei-tao, 藤田克昌(株)三菱化学科学技術研究セ・小林俊裕, 中村振一郎), 「ナノ構造フォトンクスデバイスを用いたバイオセンシング」(大阪大院工・民谷栄一, 中西紗奈 日東電工(株)・藤村保夫, 紺谷友広)/ 基調講演: 「大学と社会の相互浸透 - 特定少数間の連携から不特定多数を巻き込むオープン・イノベーションへ」(東工大・西村吉雄)/ パネルディスカッション「ザ・討論 大学と社会の相互浸透は成り立つか」/ ポスターセッション/ 懇親会(午後5時~7時)

参加費は無料ですが, 参加の詳細は下記に問い合わせてください。

〔申込・問合先〕 164-0003 東京都中野区東中野4-27-37
(株)アドスリー内 フォトニクス第3回シンポジウム事務局
TEL 03-5925-2840 FAX 03-5925-2913 E-mail
photonics3@adthree.com ホームページ <http://www.adthree.com/photonics3>

公 募

・平成21年度京都大学霊長類研究所共同利用研究員が募集されています。

霊長類に関する共同利用研究員を以下の3区分で募集します。

(A) 計画研究：所内の教員を推進者とする課題()について、所外の研究者との緊密な連絡のもとに進められる共同研究。

課題については HP (<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/index-j.html>) をご覧ください。

(B) 自由研究：霊長類研究の総合的発展をめざして、応募者の自由な発意に基づき行われる自由研究。

(C) 随時募集研究：当研究所の研究設備および資・試料を利用できます。提供できる資・試料は次のとおりです。血液・唾液・精液などの体液、臓器、筋肉、毛皮、歯牙、骨格、排泄物、その他(生理実験・行動実験・行動観察含む)。その他、図書や標本類の参照も可能です。施設利用に関しては年度途中でも随時申請を受け付けております。

計画研究、自由研究では共同研究に必要な研究費等を申請することができます。

申請資格は、平成21年4月1日時点において、大学・研究機関の研究者および大学院生またはこれらに相当する方(見込みを含む)です。研究期間は、平成21年4月1日～平成22年3月31日です。申請締切は、平成20年12月5日(金)(必着のこと)です。詳細は霊長類研究所ホームページ(<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/index-j.html>) をご覧ください。申請用紙も同ホームページよりダウンロードしてお使い下さい。

〔申請先〕 京都大学霊長類研究所 研究助成掛

〔問合先〕 484-8506 愛知県犬山市官林41-2 TEL 0568-63-0513 FAX 0568-63-0085 E-mail kenkyu-josei@pri.kyoto-u.ac.jp

・平成21年度多摩川およびその流域の環境浄化に関する基礎研究、応用研究、環境改善計画のための研究・活動

助成が公募されています。

研究対象テーマは、1) 産業活動または住生活と多摩川およびその流域との関係に関する調査および試験研究、2) 排水・廃棄物等による多摩川の汚染の防除に関する調査および試験研究、3) 多摩川およびその流域における水の利用に関する調査、試験研究、4) シンポジウム、音楽会或いは出版などによる環境啓発活動や、歴史的な遺産あるいは社会システムの維持保全・回復運動など、多摩川およびその流域における環境保全や文化の創造に広く寄与するもの、です。助成金額は、1年間最高限度額200万円または100万円で、助成期間は、平成21年4月から1年間または2年間(最長)です。公募締切は平成21年1月15日(木)です。詳細は下記へ問い合わせ下さい。

〔問合先〕 150-0002 東京都渋谷区渋谷1-16-14(渋谷地下鉄ビル内)事務局 (財)とうきゅう環境浄化財団
TEL 03-3400-9142 FAX 03-3400-9141 ホームページ
<http://home.q07.itscom.net/tokyuenv>

・(財)交流協会による平成21年度事業応募者を募集しています。

(財)交流協会では日本と台湾との間における科学技術分野、主に先端技術(IT分野、生命科学、新素材等)、環境・エネルギー、医療・福祉および防災関係分野、における共同研究開発や人材育成の一助として下記の経費助成事業を実施しています。

・若手研究者交流：1) 短期グループ派遣(教官と院生・グループ)日本の大学院の指導教官1名とその学生(大学院生)からなる3～4名のグループが、研究活動のために1週間台湾を訪問する際の経費を支給、2) 長期派遣(院生・個人)日本の大学院で研究活動を行っている大学院生で、台湾の大学や公的研究機関において2ヶ月間研究活動を行う際の経費を支給。

・セミナー・シンポジウム：1) 日本開催 日本国内において、台湾の学者・研究者との合同セミナーまたはシンポジウムを開催する研究団体に開催経費等を支給、2) 台湾開催 台湾で開催されるセミナーまたはシンポジウムに参加する日本国内在住の研究者グループに渡航費と滞在費を支給。

・共同研究：台湾の研究機関等と共同研究を行う大学等研究機関に研究経費を支給。応募の締切は、12月25日(木)です。詳細は交流協会ホームページ(<http://www.koryu.or.jp>) をご覧ください。

〔申込・問合先〕 106-0032 東京都港区六本木3-16-33
青葉六本木ビル7F 日本と台湾との架け橋（財）交流協
会 技術交流部 TEL 03-5573-2600 内線22, 23

書 評

人類進化論（霊長類学からの展開） 山極寿一著、掌華
房、2008年、187頁、1,900円（本体価格）

本書は半世紀以上にわたる日本の伝統的な霊長類社会のフィールドワークを踏まえて、人類の進化史を説いている。アフリカの熱帯雨林で誕生した人類の祖先は、気候変動による雨林の縮小で草原に進出し、直立二足歩行を獲得した。それとともにわれわれの祖先は何を得たのか、サル類や類人猿の社会との比較から論じられている。華奢だったヒトの祖先は草原での捕食圧を回避するために群れを作ったことが、サヴァンナで単雄複雌の群れ社会が集合しているヒトから類推されている。ヒトの祖先は、単雄複雌群の霊長類（特にゴリラ）に見られる雄による子殺しをピグミーチンパンジーのように子供の乳離れを早くし、雌の擬似発情を促し、出産間隔を短縮することで回避した。ヒトに特有な閉経は、閉経後も雌が効率的に食物を得ることと、多産になった子育てを援助して群れを繁殖させるための戦略だったというのは白眉だ。また、類人猿段階の非母系性社会から雌が移籍することでインセストを回避し、結果として単婚に至ったと述べている。こうして血縁、非血縁の群れ間の交渉でヒト特有な社会構造ができた。

霊長類社会からの類推から、人類の未開民族で見られた群婚から対偶婚、単婚への進化をどう説明できるだろうか。また、サルの社会は先見的不平等社会だから、ヒトの祖先の社会も不平等社会から出発したという見解とルソーの人間の社会は元々平等だったという主張とは、人類史のどの段階を取り上げるかで見方が異なってくると思われる。

化石人類からヒトの進化を論じた著書は多いが、サルの社会構造との比較で人類史を推理した意欲的な著書といえる。人間とは何かを問う良書である。

（徳島大学・歯 樋浦明夫）

シリーズ21世紀の動物科学6 細胞の生物学 監修社団法人日本動物学会、鈴木範男・神谷 律共編、培風館、2007年、233頁、3,400円（本体価格）

本書は、序章、1章から6章、終章という構成になっ

ている。

序章では全体の概要や、注目されている分野、研究課題について説明されている。各章では、それぞれの研究者の研究内容を中心として述べられている。

その内容は、細胞周期、細胞死、細胞分裂、極体形成と中心体、細胞運動、細胞内情報伝達など非常に多岐にわたっている。

このなかでは1度は聞いたことがあるであろう、動物が研究対象として登場する。それら動物には、個性があるとともに、生物全般にわたる共通性をもっている。その動物の細胞を対象に研究が進められていく様子が、研究者自身の手で書かれている点が本書の特色といえる。

また、模式図や顕微鏡写真などを用いて、研究の説明がなされていて非常に興味をもて、細部の研究内容に対してわかりやすく記述がされている。

また、コラムがところどころにあり、第1線の研究者ならではの内容であり楽しんで読める内容であった。

専門外の研究者も本書を読むことで細胞や研究の面白さが伝わってくる内容であると感じる。

特に学部学生、大学院生には本書を読むことで動物科学分野に対する新鮮な刺激を受けることができることと感ずるので一読を勧めたい。

（北陸先端科学技術大学院大学・マテリアルサイエンス

依田 毅）

種子（タネ）たちの知恵 多田多恵子著、NHK 出版、2008年、160頁、1,400円（本体価格）

昭和26年、東京大学の農場で発見された約2000年前のハスの種子（タネ）が見事発芽し、世界最古の生命の復活を成し遂げた。私も、その大輪の花に古代のロマンを感じたことを思い出すが、このような「タネ」は、移動できない植物が、生育に適した環境を求めて、タイムカプセルとして時間を旅するだけでなく、自由に空間を移動するための、植物最大の武器である。本書では、32種類の植物を、「タネ」を話の中心に、その植物の生き様から名前の由来、はては、その種子を使った遊び方まで幅広く、またふんだんな写真とイラストを用いて紹介しており、堅苦しくなく、気軽に読める良書である。「タネ」を中心に据えているだけあり、本書を構成する3章は、それぞれ、タネの空間的・時間的旅行様式に基づき分類されている。第一章、「自然を利用するタネたち」では、ヘリコプターの羽をもつ菩提樹や、空飛ぶボート（アオギリ）だけでなく、ひたすら山火事を待ち続ける

ブラシノキ等が紹介されている．それに引き続き，第二章は「動物を利用するタネたち」，第三章は「みずからタネを飛ばす植物たち」と，次々に目新しい「タネ」達の巧妙な戦略に心を奪われることとなる．まさに芸術的なその生き様に引き込まれ，ついつい一気に読んでしまうが，何度読んでも読み飽きず，思わず，散策に出かけたくなる思いが込み上げてくるだろう．本書は NHK「趣味の園芸」において，2005年4月号から2007年3月号に連載された「この植物にこのタネあり」をベースにまとめられており，完成度も極めて高く，子供から大人まで広く楽しめる読み物となっている．天気の良い休日の午前中に本書を手にとってみてはいかがだろうか．

(東京大学大学院理学系研究科 澤進一郎)

寄贈図書の書評希望者募集

生物科学ニュース編集委員会では，本委員会に寄贈されました下記の本の書評希望者を募集いたします．謝礼と致しまして書評した本を差し上げます．希望者は編集委員会まで葉書，FAX または E メールでご連絡ください．書評をお願いする場合は本と執筆要領をお送りいたします．但し希望者多数の場合，どなたにお願いするかは編集委員会に一任願います．尚，出版社より編集委員会に書評依頼のあった単行本以外の書評，および書評の投稿は受け付けておりませんのでご了承ください．お書きいただいた書評は，生物科学ニュースのみならず，日本動物学会および日本植物学会のホームページにも掲載される場合があります．この点を，あらかじめご了承ください．

分子遺伝学入門 - 微生物を中心にして - 東江昭夫著 260頁 2007年 裳華房 2,600円(本体価格，以下同)/コア講義 分子生物学 田村隆明著 132頁 2007年 裳華房 1,500円/生物がつくる 体外 構造 - 延長された表現型の生理学 - J・スコット・ターナー著 滋賀陽子訳 深津武馬監修 333頁 2007年 みすず書房 3,800円/昆虫の保全生態学 渡辺 守著 190頁 2007年 東京大学出版会 3,000円/細胞[基礎分子生物学第3巻] 猪飼 篤，川喜田正夫，星 元紀編集 黒岩常祥，三角修己，高野博嘉，伊藤竜一，松永幸大著 152頁 2008年 朝倉書店 3,400円/ポピュラー・サイエンス284 細胞膜のしくみ - 構造と機能 - 八幡義人著 200頁 2008年 裳華房 1,600円/ポピュラー・サイエンス285 パイオインフォマティクス - 生命情報学を

考える - 館野義男著 140頁 2008年 裳華房 1,500円/文系のための生命科学 東京大学生命科学教科書編集委員会編 159頁 2008年 羊土社 2,800円/生物学第2版 石川 統編 守 隆夫他著 232頁 2008年 東京化学同人 2,400円/免疫学はやっぱりおもしろい 小安重夫著 238頁 2008年 羊土社 2,800円/匂いによるコミュニケーションの世界 - 匂いの動物行動学 - 小山幸子著 224頁 2008年 フレグランスジャーナル社 3,000円/大阪市立自然史博物館叢書 - (3) 干潟を考える干潟を遊ぶ 大阪市立自然史博物館・大阪自然史センター編著 159頁 2008年 東海大学出版会 2,500円/生物学オリンピック問題集 国際生物学オリンピック日本委員会編 125頁 2008年 羊土社 1,600円/からだをまもる免疫のふしぎ 日本免疫学会編集 69頁 2008年 羊土社 1,800円/微生物学 - 地球と健康を守る - 坂本順司著 190頁 2008年 裳華房 2,500円/学術選書035 ヒトゲノムマップ 加納 圭著 401頁 2008年 京都大学学術出版会 2,200円/ミクロの世界の仲間たち アーサー・コーンバーグ著 宮島郁子訳 新井賢一監修 86頁 2008年 羊土社 2,500円/医学・医療系のための生物学の基礎知識 - 生命の誕生・くすり・再生医療まで - 都河明子著 190頁 2008年 丸善 2,000円/「理科少年」が仕事を変える，会社を救う - 「人性」をイノベーションする新思考法 - 出川通著 191頁 2008年 彩流社 1,500円/よくわかる生物電子顕微鏡技術 - プロトコル・ノウハウ・原理 - 白倉治郎著 208頁 2008年 共立出版 8,800円/宇宙生物学入門 - 惑星・生命・文明の起源 - P. ウルムシュナイダー著 須藤 靖，田中深一郎，荒深 遊，杉村美佳，東 悠平訳 343頁 2008年 シュプリンガー・ジャパン 3,900円/ファーストブック 生命科学がわかる - 生物の生きるしくみをミクロの視点で理解する - 工藤佳久，都筑幹夫著 205頁 2008年 技術評論社 1,780円/身近な植物に発見! 種子たちの知恵 多田多恵子著 160頁 2008年 NHK 出版 1,400円/コア講義生物学 田村隆明著 198頁 2008年 裳華房 2,300円/化石の記憶 - 古生物学の歴史をさかのぼる - 矢島道子著 219頁 2008年 東京大学出版会 3,200円〔連絡先〕113-0033 東京都文京区本郷2-27-2 東真ビル 生物科学ニュース編集委員会 FAX 03-3814-6216 E-mail chu@hc.cc.keio.ac.jp または sawa@biol.s.u-tokyo.ac.jp

生物科学ニュース書評用図書

生物科学ニュース編集委員会宛に以下の本が寄贈されました。(2008年5月-10月分)

匂いによるコミュニケーションの世界 - 匂いの動物行動学 - 小山幸子著 224頁 2008年 フレグランスジャーナル社 3,000円(本体価格, 以下同)/日本の哺乳類学第1巻 小型哺乳類 大泰司紀之, 三浦慎悟監修 本川雅治編 311頁 2008年 東京大学出版会 4,400円/大阪市立自然史博物館叢書 - (3) 干潟を考える 干潟を遊ぶ 大阪市立自然史博物館・大阪自然史センター編著 159頁 2008年 東海大学出版会 2,500円/生物学オリンピック問題集 国際生物学オリンピック日本委員会編 125頁 2008年 羊土社 1,600円/からだをまもる免疫のふしぎ 日本免疫学会編集 69頁 2008年 羊土社 1,800円/カラー版 知床・北方四島 - 流水が育む自然遺産 大泰司紀之, 本間浩昭著 196頁 2008年 岩波新書 1,000円/微生物学 - 地球と健康を守る - 坂本順司著 190頁 2008年 裳華房 2,500円/日本の哺乳類学第2巻 中大型哺乳類・霊長類 大泰司紀之, 三浦慎悟監修 高槻成紀, 山極寿一編 472頁 2008年 東京大学出版会 5,000円/学術選書035 ヒトゲノムマップ 加納 圭著 401頁 2008年 京都大学学術出版会 2,200円/ミクロの世界の仲間たち アーサー・コーンバーグ著 宮島郁子訳 新井賢一監修 86

頁 2008年 羊土社 2,500円/医学・医療系のための生物学の基礎知識 - 生命の誕生・くすり・再生医療まで - 都河明子著 190頁 2008年 丸善 2,000円/「理科少年」が仕事を変える, 会社を救う - 「人性」をイノベーションする新思考法 - 出川 通著 191頁 2008年 彩流社 1,500円/よくわかる生物電子顕微鏡技術 - プロトコル・ノウハウ・原理 - 白倉治郎著 208頁 2008年 共立出版 8,800円/宇宙生物学入門 - 惑星・生命・文明の起源 - P. ウルムシュナイダー著 須藤 靖, 田中 深一郎, 荒深 遊, 杉村美佳, 東 悠平訳 343頁 2008年 シュプリンガー・ジャパン 3,900円/日本の哺乳類学第3巻 水生哺乳類 大泰司紀之, 三浦慎悟監修 加藤秀弘編 293頁 2008年 東京大学出版会 4,400円/人類進化論 - 霊長類からの展開 - 山極寿一著 187頁 2008年 裳華房 1,900円/ファーストブック 生命科学がわかる - 生物の生きるしくみをミクロの視点で理解する - 工藤佳久, 都筑幹夫著 205頁 2008年 技術評論社 1,780円/身近な植物に発見! 種子たちの知恵 多田多恵子著 160頁 2008年 NHK 出版 1,400円/コア講義 生物学 田村隆明著 198頁 2008年 裳華房 2,300円/化石の記憶 - 古生物学の歴史をさかのぼる - 矢島道子著 219頁 2008年 東京大学出版会 3,200円

生物科学ニュース編集委員会

関連記事掲載を御希望の方は、「生物科学ニュース」最新号を参照の上、記事を簡潔にまとめ、下記編集局宛にお送り下さい。編集委員会が関連記事と認めた場合には無料で掲載させていただきますが、様式の統一のため記事の手直しを行なうことがあります。なお、編集委員会では記事の要約表現の改訂を独自に行なうことがあります。また学会や研究会が独自の記事を出したい時には、その都度必要なスペース（“ひろば”欄）を買い切ることができます。“ひろば”の校正は買い切られた方をお願い致します。

◦ 料金：1 ページ（2,000 字） 40,000 円

1/2 ページ（1,000 字） 20,000 円

1/4 ページ（500 字） 10,000 円

◦ 記事送付先：〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-2 東真ビル 生物科学ニュース編集局

◦ 原稿をお送り下される場合、以下の点にご留意下さい。

1) 生物科学ニュースに原稿をお送りいただく場合は、生物科学ニュース編集局 (bsnews@bsj.or.jp) に、電子メールの本文または添付書類（テキストファイル、マイクロソフトワードまたはアップルワークス書類に限る。ファイル名に拡張子を付ける。）で、Subject に「ニュース原稿」と記入の上、お送り下さい。フロッピーディスクを郵送いただいても結構です。なお、修飾文字や特殊文字をご使用の際は、同時にプリントアウトしたものをファックス（03-3814-6216）にてお送り下さい。図表等のファイルについては、予めご相談下さい。書式等は生物科学ニュース最新号をご参照下さい。

2) 現在のところ、書評欄への投稿は受けつけておりません。

3) 掲載原稿の締切日（必着）は以下の通りです。

No.446 2009年2月号 2008年12月1日（月）

生物科学ニュース No.444 2008年12月（月刊）

定価 270円（消費税込）

運営委員会

社団法人 日本動物学会 久保英夫・鈴木 忠・吉田 学（<http://www.soc.nii.ac.jp/zsj/zool/>）

社団法人 日本植物学会 永田典子・澤 進一郎・小関良宏（<http://bsj.or.jp/>）

編集委員会

社団法人 日本植物学会 岩井宏暁・植村知博・水澤直樹・本瀬宏康・澤 進一郎（幹事）

社団法人 日本動物学会 阿部秀樹・佐藤 恵・立花和則・広橋教貴・鈴木 忠（幹事）

発行（社）日本動物学会・（社）日本植物学会 生物科学ニュース編集委員会 〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-2 東真ビル / FAX 03-3814-6216

印刷 昭和信息プロセス株式会社 〒108-0073 東京都港区三田5-14-3 TEL 03-3452-8451

購読申込：生物科学ニュース編集委員会 / 〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-2 東真ビル
FAX 03-3814-6216
